



As-me ESTELLE

第55期（2013年3月期） 第2四半期決算説明会 資料

2012年12月 3日

証券コード:7872 JASDAQ

As-me エステール株式会社



目 次

I. 2013年3月期 第2四半期決算概要	… 2
II. 中期経営計画	… 14



I . 2013年3月期 第2四半期決算概要

1. 第2四半期決算ハイライト
2. 第2四半期決算サマリー
3. 損益の状況
4. 既存店売上高の推移(宝飾店)
5. 財政状態
6. 財務の状況
7. 連結キャッシュ・フローの状況
8. 店舗展開状況
9. 地域別店舗配置(宝飾店)
10. 通期業績予想(連結)
11. 配当実績と予想

1 第2四半期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2011/9 (前第2四半期)	2012/9 (当第2四半期)	前年同期比 増加率	2012/3 (前期)
売上高	13,546	14,377	6.1%	29,177
営業利益	861	974	13.1%	2,513
経常利益	877	1,066	21.5%	2,565
当期純利益	297	646	117.6%	1,100

2 第2四半期 決算サマリー

既存店の売上高が堅調に推移したことなどから、前年同期比増収増益となった。

●売上高は前年同期比6.1%増。売上高総利益率は概ね前年同期水準を維持。

その結果、売上総利益も同5.5%増。

●営業利益は前年同期比13.1%増の9億74百万円計上。

●経常損益は前年同期比21.5%増の10億66百万円計上。
純利益は前年同期比117.6%増の6億46百万円計上。

3 損益の状況

(単位:百万円)

	2011/9 (前第2四半期)	2012/9 (当第2四半期)	2012/3 (前期)
売上高	13,546	14,377	29,177
売上原価	5,144	5,513	11,201
売上総利益	8,401	8,863	17,976
販管費	7,540	7,889	15,462
営業利益	861	974	2,513
営業外損益	15	91	52
経常利益	877	1,066	2,565
特別損益	△291	△19	△455
当期純利益	297	646	1,100

【主な収益変動要因】

■ 売上高は前期同期比831百万円の増加。売上総利益率は61.6%と前年同期(62.0%)とほぼ同水準。売上総利益は461百万円増加。

■ 前年度に引き続き、既存店売上が堅調に推移(前年同期比6.7%増)。

■ 販管費は売上増及びブライダル事業強化などに伴う販促費の増加もあり、前年同期比349百万円増加。営業利益は112百万円増加。売上高営業利益率は6.8%(前年同期6.4%)。

■ 主な経費項目の増減は、販促・広告宣伝費124百万円、支払家賃65百万円、賞与引当金繰入額53百万円など。

■ 営業外損益は前年同期に子会社で計上した為替差損が今期なかったことなどから、経常利益は前年同期比188百万円の増加。売上高経常利益率は7.4%(前年同期6.5%)

■ 今期の減損損失は28百万円(前年同期253百万円)。

■ 当期純利益は、646百万円と349百万円増加。

4 既存店売上高の動向 (宝飾店)

既存店売上高の前年同期比増減率

	上期	下期	通期
2011/3期	107.5%	97.4%	102.1%
2012/3期	101.5%	112.2%	106.9%
2013/3期	106.7%		

5 財政状態

(単位:百万円)

	2012/3 (前期)	2012/9 (当第2四半期)
流動資産	21,121	21,155
固定資産	10,239	10,138
資産合計	31,361	31,293
流動負債	11,577	11,317
固定負債	9,361	9,210
負債合計	20,938	20,528
株主資本合計	10,229	10,652
その他の包括利益 累計額合計	193	112
純資産合計	10,422	10,765
負債純資産合計	31,361	31,293

【主な財政状態の変動要因】

■ 流動資産は前期末比33百万円の増加。主な科目の増減は、棚卸資産が399百万円の増加、売上債権は182百万円の減少、現預金が223百万円の減少となった。

■ 固定資産は101百万円の減少。敷金及び保証金の170百万円減少が主因。

■ この結果、総資産は68百万円の減少。

■ 負債合計は410百万円減少。

主な増加要因は、仕入債務が272百万円の増加。

一方、借入金・社債は517百万円減少、負ののれんが163百万円減少した。

■ 純資産は、342百万円増加。

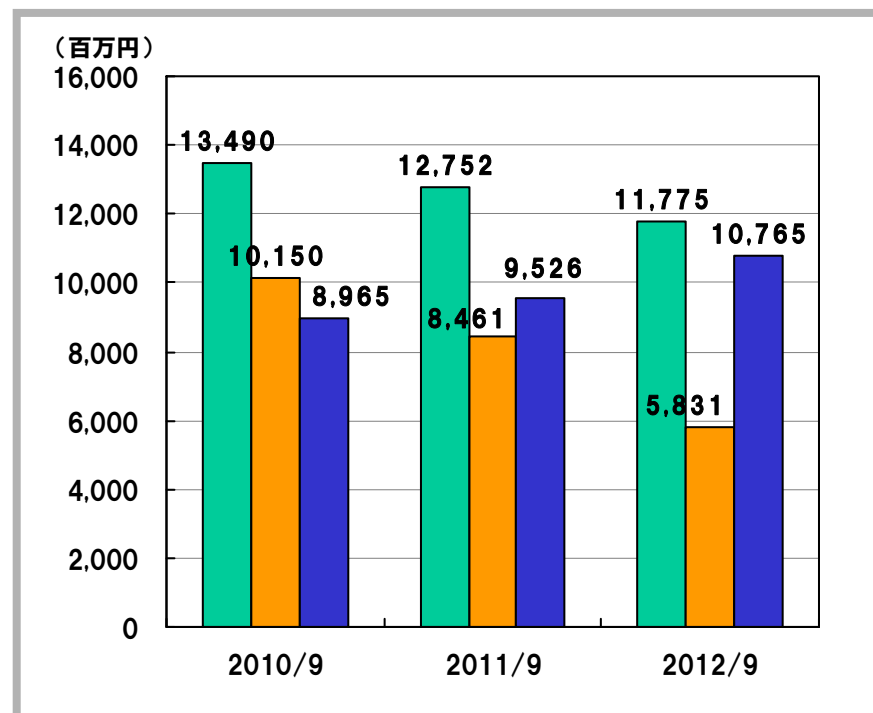
自己資本比率は前期末の33.2% から34.4%と上昇。

1株あたり純資産は前期934.22円から964.93円に増加

6 財務の状況

■ ネット借入金と自己資本の推移

借入金・社債 ネット借入金 自己資本



借入金は着実に減少。現預金を控除したネットの借入金も50億円台に。

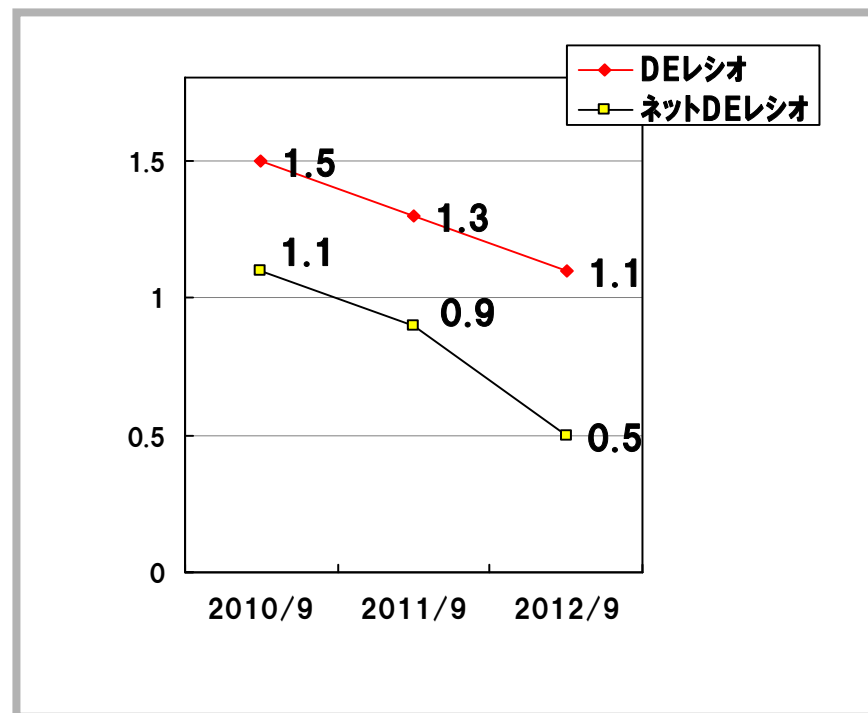
(ネット借入金 = 借入金 + 社債 - 現預金)

(自己資本 = 株主資本 + その他の包括利益累計額)

■ ネットDEレシオの推移

DEレシオ = (借入金 + 社債) ÷ 自己資本

ネットDEレシオ = (借入金 + 社債 - 現預金) ÷ 自己資本



借入金の減少、自己資本の増加を受け、DEレシオも低下続く。ネット借入金ベースで0.5へ。

7 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2011/9 (前第2四半期)	2012/9 (当第2四半期)
営業活動による キャッシュ・フロー	549	767
投資活動による キャッシュ・フロー	△308	△215
財務活動による キャッシュ・フロー	△123	△776
現金及び現金同等 物の増減額	115	△223
現金及び現金同等 物の期末残高	3,990	5,644

【主なキャッシュ・フローの内容】

【営業活動CF】

(資金増加要因)

税金等調整前当期利益 1,046百万円

仕入債務の増加 272百万円

減価償却費 229百万円

売上債権の減少 182百万円 など

(資金減少要因)

棚卸資産の増加 399百万円

法人税等支払額 254百万円

負ののれん償却額 163百万円 など

以上により営業活動CFは、767百万円の増加。

【投資活動CF】

(収入)

敷金保証金の返還 193百万円

投資有価証券の売却 71百万円 など

(支出)

新規出店、改装等の固定資産の取得 323百万円

子会社設立(中国現法)による出資 80百万円

敷金保証金の差入 40百万円 など

以上により投資活動CFは、215百万円の減少。

【財務活動CF】

借入金・社債の減少 517百万円(純額)

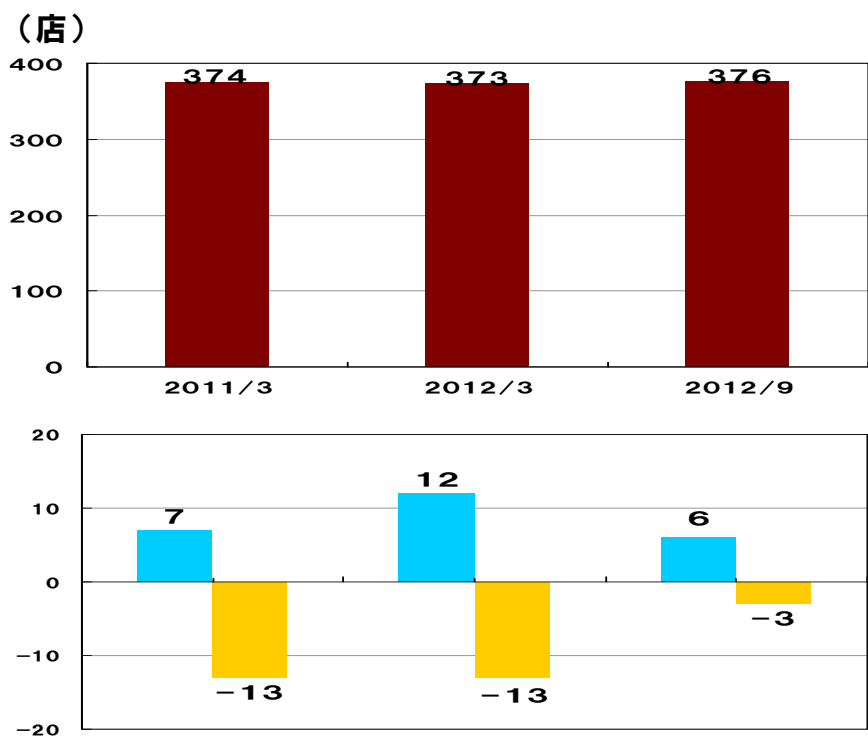
配当金支払 223百万円 など

以上により財務活動CFは、776百万円の減少。

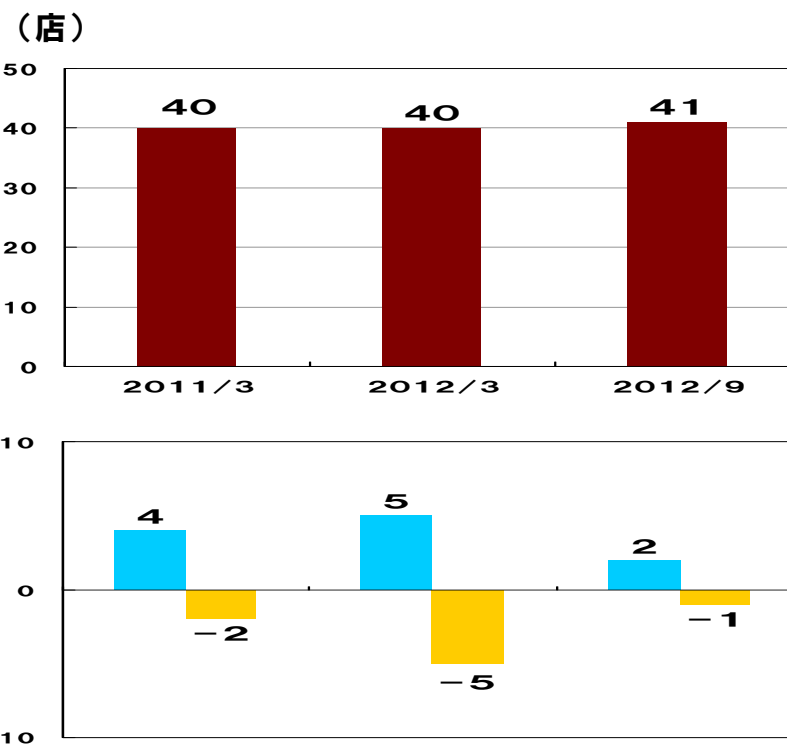
8 店舗展開状況

宝飾専門店 『As-meエステール』

■ 期末店舗数 ■ 出店 ■ 退店



メガネ専門店 『キンバレー』



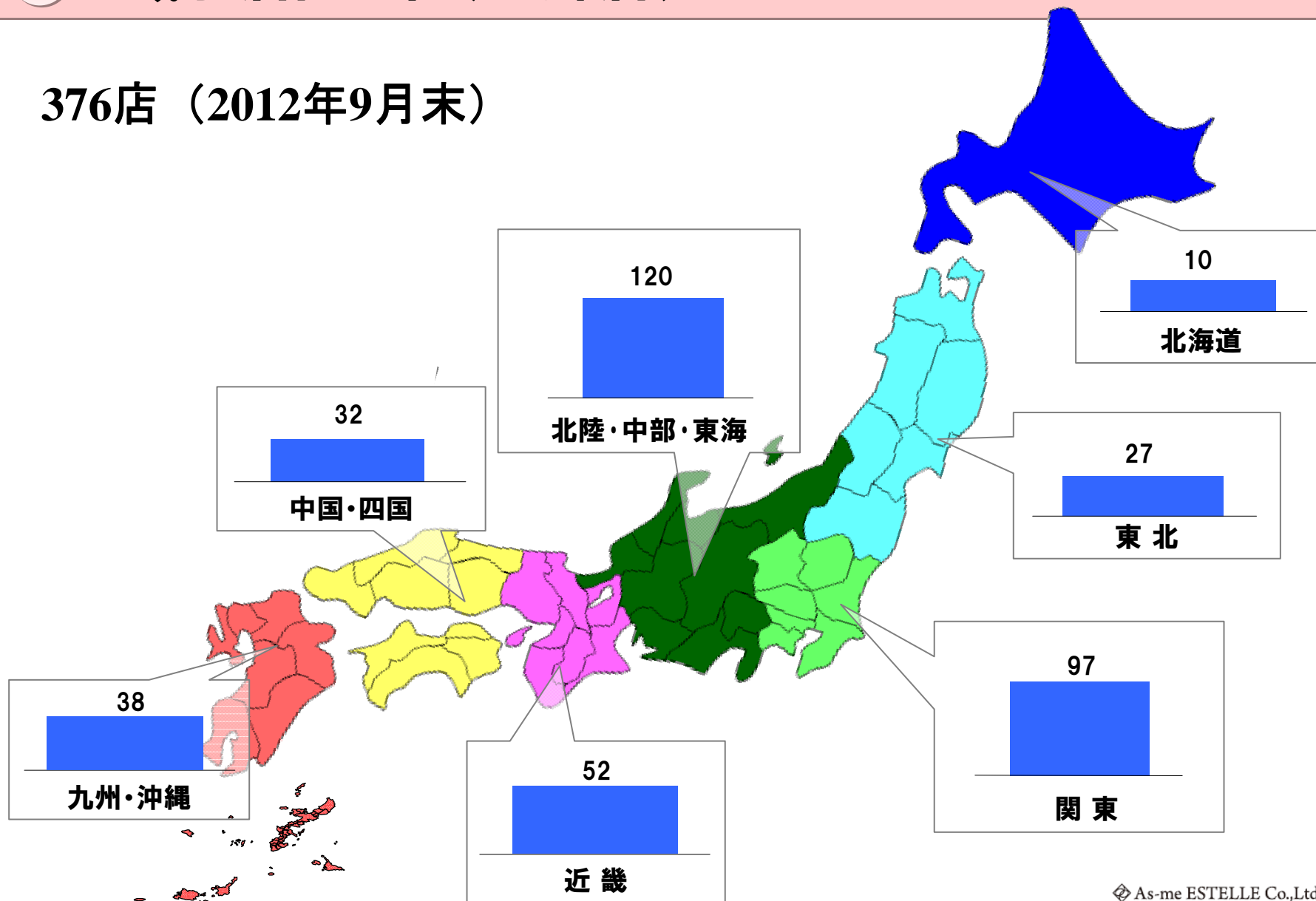
(注)その他海外店舗(宝飾品) 6店(2012/9末)

・ベトナム5店(ハノイ3店、ニアチャン2店)

・中国1店(杭州1店)

9 地域別店舗配置(宝飾店)

376店 (2012年9月末)



10 通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

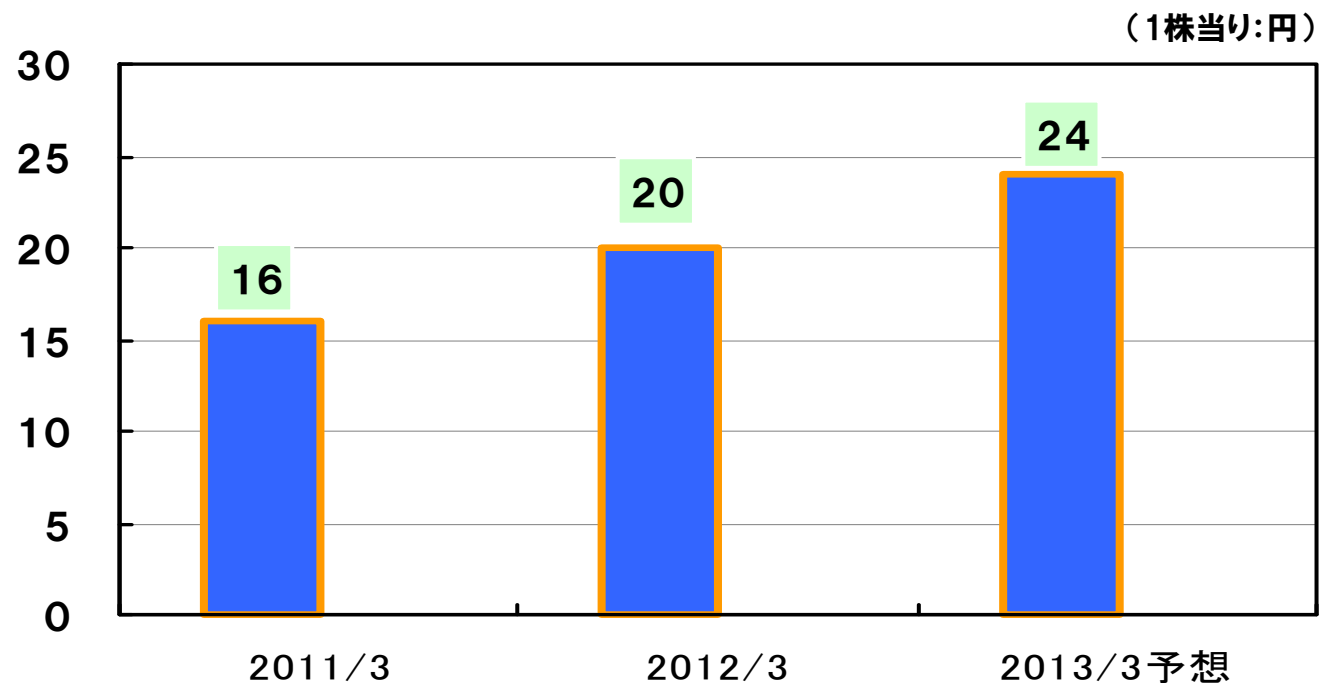
	2012/3	2013/3 (予想)	前期比増減率
売上高	29,177	29,830	2.2%
営業利益	2,513	2,757	9.7%
経常利益	2,565	2,900	13.0%
当期純利益	1,100	1,700	54.4%

■ 通期の業績予想については、外部環境が不透明なことなどから、本年5月公表の予想を変更しておりません。

■ 店員教育・顧客管理・SPA機能・商品企画を更に充実し、顧客層を拡大するとともに、売上高総利益率の維持・向上を目指す。

■ 店舗規模は維持しつつ、継続的にスクラップ・アンド・ビルドを行い、収益力の強化を図る。

11 配当実績と予想



業況の伸張とともに、每期着実に、増配しています。
今期2013/3期は、24円を予想し、株主様への還元に心がけてまいります。



II . 中期経営計画

1. 中期経営計画の基本方針（2013/3期～2015/3期）
2. 中期経営計画の重点課題
3. 中期経営計画の収益目標

1 中期経営計画の基本方針

(2013/3期～2015/3期)

創業60周年

(2014年4月)

基本の徹底

創業60年迎えるにあたり、基本を見つめ直す

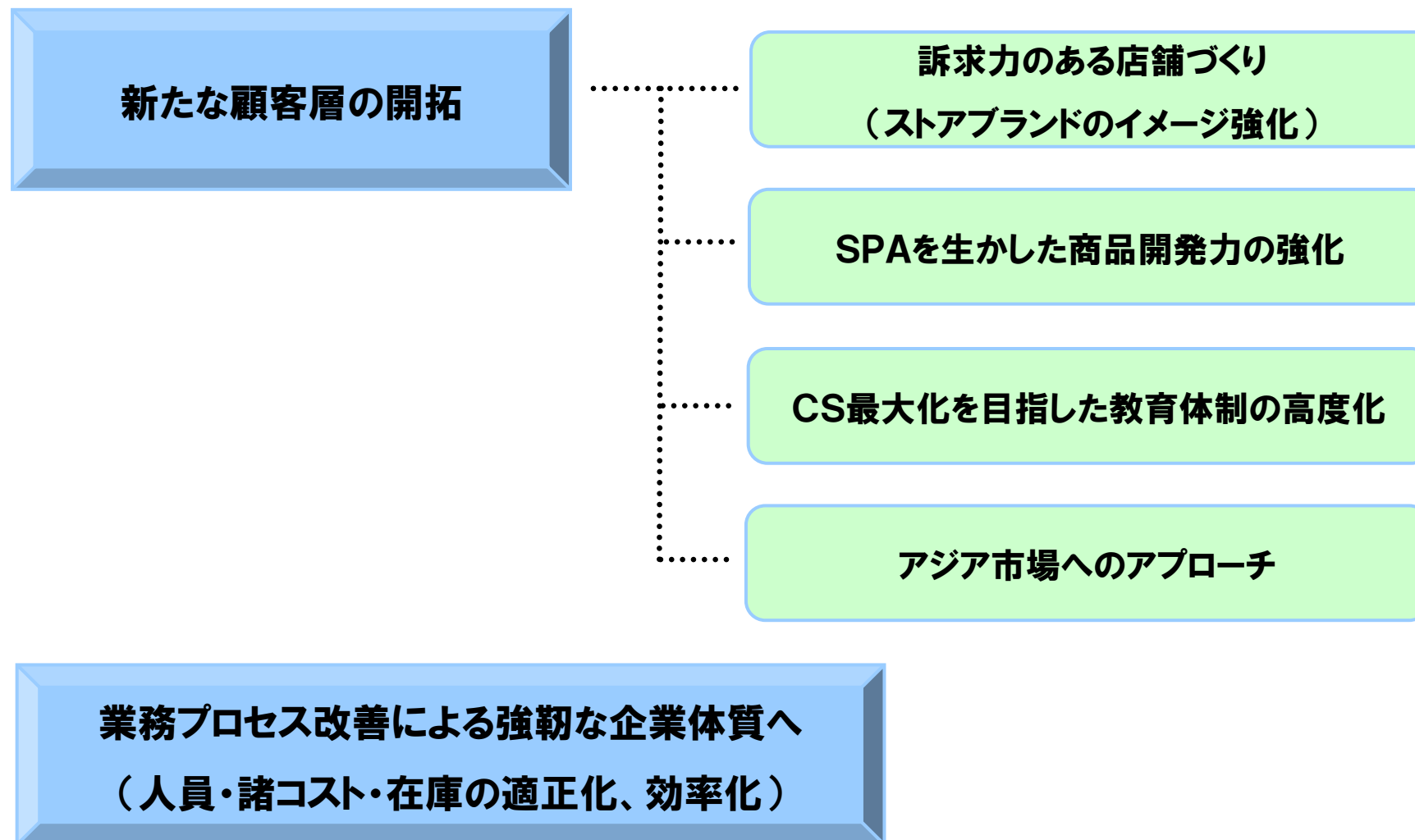
【基本方針】

1. お客様に最大のご満足を提供
2. 収益基盤の強化と営業基盤の拡大



新たなステージへ

2 中期経営計画の重点課題



3 中期経営計画の収益目標

(単位:百万円)

	2012/3期 (実績)	2013/3期 (計画)	2014/3期 (計画)	2015/3期 (計画)
売上高	29,177	29,830	31,400	32,800
営業利益	2,513	2,757	2,950	3,670
経常利益	2,565	2,900	3,120	3,523
当期純利益	1,100	1,700	1,800	2,000

【お問い合わせ先】

As-me エステール株式会社

総務部

TEL : 03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われぬようお願い致します。